

2026 年度ディープテック推進事業委託業務仕様書

1 事業名

2026 年度ディープテック推進事業委託業務

2 事業目的

愛知県では、産業競争力を維持・発展するために、スタートアップを起爆剤とする新たなイノベーション創出の仕組み作りが喫緊の課題であると考え、2018 年 10 月に「Aichi-Startup 戦略」を策定した。一方、海外では時価評価額 10 億ドル以上のユニコーン企業がマーケットを大きく変革する破壊的イノベーションを生み出し、社会実装されることによって、高成長、産業競争力の源泉となっている。本戦略においても、イノベーションの創出を中心とするスタートアップ・エコシステムの形成、持続的な発展を目標としており、目標達成のためには、イノベーションの主たる担い手であるユニコーン企業を連続的に創出し、社会実装していくことが重要である。

本事業は、世界トップの製造業の産業集積という愛知県の強みを生かし、ディープテック分野における破壊的イノベーションが期待される事業を対象に、海外展開及び資金調達を含む成長段階に応じた総合的な支援を実施するものである。複数年度にわたる支援を通じて社会実装を促進するとともに、事業会社等との共創を通じて新たな産業の創出を図り、既存市場の転換及び新規市場の形成を目的とする。

なお、本事業における「ディープテックスタートアップ」とは、原則として、大学・研究機関等の独創的かつ複製困難な最先端の科学技術に基づくスタートアップとする。

3 委託期間

契約締結日から令和 9 年 3 月 31 日（水）まで

4 事業内容

公募方式でスタートアップを 2 社以上採択し、複数年度にわたるアクセラレーション（総合支援）を実施する。

加えて、将来的にアクセラレーションに採択できる水準のスタートアップを育成するため、広くディープテック関係者を対象としたコミュニティ形成・情報提供等を行うファンダメンタルサポート（基礎支援）を実施する。

※ 翌年度以降の事業実施については、当該年度の予算措置により決定される。

【委託事業の目標】

選定したスタートアップに対してアクセラレーションを実施するとともに、事業全体で年 5 億円以上の資金調達（補助金、融資、エクイティ調達等）を目指すこととする。

(1) 業務内容

ア 共通事項

- ・ 事業全体のディレクションを行う事務局がディープテック系スタートアップへのアクセラレーション、ファンダメンタルサポートを実施するため、ディレクター3人以上アサインし、事業を実施する。
- ・ 事業費の半分以上はアクセラレーションになることを想定しているため、アクセラレーションの実施主体と事務局が同一であることが望ましいが、事務局が専門性を必要とするアクセラレーションとファンダメンタルサポートは異なる実施主体とする方が効率的であると判断する場合においては、事務局が高い専門性と能力を持つ実施主体を選定し、コンソーシアムを組んで提案することを可とする。ただし、主要な部分については事務局で実施すること。
- ・ 年度が変わり、委託先の事務局が変更となった場合、円滑に事業が実施できるよう引継ぎを行うこと。
- ・ 特にアクセラレーションの対象となるスタートアップは、分野、ステージ、事業進捗等によって支援内容が変化するため、支援に必要となる専門性が変化する。従って、状況に応じて、アクセラレーションの実施主体が必要な専門性を持つディレクターを都度アサインすること。また、アクセラレーションに採択したスタートアップに対して1年毎に支援の継続判断を行い、通過した者に対して最大5年間支援すること。
- ・ ディープテック関係者が必要とする情報掲載、コミュニティを醸成する機能を保有するWebページ、SNS等を作成し、情報発信を行う。なお、コミュニティにナレッジを蓄積するため、コミュニティ醸成機能を保有するWebページ、SNS等はストック型（情報蓄積型）が望ましい。
- ・ アクセラレーション及びファンダメンタルサポートに関わったスタートアップによるミートアップ（発表・交流会）を年2回以上実施すること。ファンダメンタルサポートのコミュニティ形成と連動して複数回実施することが望ましい。
- ・ STATION Ai（愛知県が2024年10月に設置したスタートアップ支援施設）、BLOCK71 Nagoya（シンガポール国立大学の主導で設立されたインキュベーション組織の名古屋拠点）、Tongali（東海地区の大学による起業家育成プロジェクト）等と協同し、一般的な起業家教育や知識習得には前述団体が提供するプログラム等を活用し、本事業ではディープテックに特化した事業に必要な知識提供・教育を実施するとともに、前述団体提供プログラムと事業間の接続を図ること。

イ アクセラレーション

- ・ 公募方式で2者以上採択し、採択したスタートアップに対して複数年度にわたりプロジェクト支援を実施。1年毎に支援の継続判断を行うこと。

- ・ 初年度に限り、採択スタートアップに対して資金調達、事業遂行を加速するため上限 4,000 万円/件（消費税及び地方消費税を含む。）の社会実装委託契約による支援を実施すること。
- ・ 前述の社会実装委託契約に加え、社会実装委託契約による支援を行わないスタートアップを数社採択し、アクセラレーション等による支援をする。
- ・ 2023 年度から 2025 年度に採択したスタートアップ（別紙）に対し、進捗状況等を確認した上、支援の継続判断を行い、支援を継続する。

(ア) 管理・運営

a 実施方針・手法の決定

以下項目の検討を行い、運営方針・実施手法を策定する。

- ・ 複数年度にわたるアクセラレーションを前提とした制度設計
- ・ NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）等の各種補助金、エクイティ調達等を見据えた申請・選定方法
- ・ 愛知県の産業構造や事業会社、GX（グリーントランسفォーメーション）・CN（カーボンニュートラル）等の世界的課題を踏まえた支援領域
- ・ グローバル市場を前提とした事業成長及び海外展開戦略の支援
- ・ 大学・研究機関、事業会社、海外支援機関等ステークホルダーとの調整、連携体制
- ・ 県の意見を踏まえたプロモーション手法
- ・ NEDO 等に準拠した経理処理のマニュアルなど必要書類
- ・ その他アクセラレーションに必要な事項

b 管理・運営

提案書に記載の実施方針・手法、企画提案書（アクセラレーション全体の計画書）などについては、以下事項を踏まえ、県と協議の上、内容を決定し、計画に基づいてアクセラレーションの運営を行う。なお、計画については、県と協議の上で変更を可とする。

- ・ 提案の選定にかかる評価項目及び評価基準、審査体制の検討
- ・ アクセラレーションに係る事業会社の候補調査
- ・ アクセラレーションに係る事業のニーズ調査
- ・ 全国のディープテックスタートアップ技術シーズ等調査
- ・ アクセラレーションのゴール及び評価指標の設定

(イ) 参加事業者の募集・選定

a 募集

以下の項目を踏まえ、全国から参加事業者を募集する。（目標件数：10 件以上）
なお、対象者は、ディープテックスタートアップで、愛知県の産業構造と親和性の高い分野において愛知県内で社会実装する意思のある者、又は愛知県内で研究

開発、実証実験等を行う者とする。

- ・ 参加事業者の募集に伴うエントリーシートや募集要項、Q&Aの作成。
- ・ 募集に向けたプロモーションの実施（特設ウェブサイトの作成・管理、プロモーションの拡散施策等、内容は県と協議の上、決定する）
- ・ 募集期間中の窓口業務や事前相談への対応
- ・ 募集状況を隨時、県に報告
- ・ 受託者の知見、ネットワークを駆使し、アクセラレーションに必要な能力を持つ企業等（採用支援等）をリストアップ

b 選定

以下の項目を踏まえ、企画提案書にて定めた審査会を組成の上、社会実装委託契約を結ぶ者を選定する。

- ・ 評価項目及び評価基準等に基づく参加事業者の整理
- ・ 選定候補に係る概要、選定理由を含めた全件の県への報告
- ・ 審査会に諮る審査件数を県と協議
- ・ 審査会による選定と、選定結果の広報プロモーションを実施。なお、選定はディープテックアクセラレーションの経験豊富な事務局、事業パートナー、事業資金を拠出する可能性があるVC、銀行、学術的な技術審査を行える学者等が、市場性、事実検証、技術優位性などの観点から審査等を行い、決定することが望ましい。

(ウ) 業務管理

前述により選定した者の提案を個別のプロジェクトとして、社会実装委託契約を締結する。また、具体的業務は以下のとおりとする。なお、提案により社会実装委託契約を締結しないスタートアップを追加採択し、アクセラレーション等による支援を行う場合、b 以外を実施することが望ましい。また、アクセラレーションにおいて、支援継続の可否を判断するステージゲートを1年毎に設けること。

a 個別プロジェクトの管理

以下の項目を踏まえ、個別の管理計画を策定するとともに、進捗状況を管理し、県への報告等を行う。

- ・ 詳細工程管理計画の策定及びリスクマネジメント（プロジェクトごとにマイルストーンや必要額の整理を行う。）
- ・ 適切なステージゲートの設定、次年度に行うステージゲート審査手法の検討
- ・ 社会実装委託契約内容の構成について変更等の必要性が生じた場合の適切な対応
- ・ 県への報告事項及び報告頻度の決定
- ・ 進捗、課題等を把握するための様式（報告書、課題管理票等）の作成。なお、NEDO 等各種補助金を申請する場合は、当該補助金が定める進捗管理に係る様式

等と連動させることが望ましい。

b 契約・経理処理・支払

以下の項目を踏まえ、個別に委託契約を締結し社会実装委託契約費用を支出する。

- ・ 委託契約書に必要な書類の検討、作成(事前に県に契約内容の確認を行うこと)
- ・ 経理処理マニュアル等に基づく費用の検査及び額の確定
- ・ 策定した個別の詳細工程管理計画等に応じた必要額の支払い

c アクセラレーション支援

以下の項目を踏まえ、進捗に応じたあらゆる必要な支援を行う。

(想定支援内容)

- ・ 海外展開支援（海外 VC や協業パートナーとの連携等）
- ・ リファラル採用等によるチーム組織支援
- ・ 競争的資金、補助金、融資、エクイティ調達等による長期間での資金調達及び CF 管理支援
- ・ 技術動向分析、マーケティングレポート等ビジネス環境調査支援
- ・ 計測分析機器、スペコン等利用仲介、OEM 生産設備確保等支援
- ・ 生産技術標準化、マニュアル化支援、試作・初期量産支援
- ・ 個別プロジェクトからの随時の相談対応
- ・ 社会実装委託契約に係る経理処理の支援
- ・ 問題が発生した場合、指摘や改善提案、調整等の支援 等

d 成果報告、成果物の管理

個別プロジェクトごとに、以下の項目を踏まえた成果報告書を作成し、県へ報告する。

- ・ 目標到達への進捗状況を確認する中間報告の実施（10 月頃を目途）
- ・ 発生した知的財産権等の報告
- ・ 完成した製品、サービス概要の報告
- ・ 個別プロジェクトごとの到達段階や成果、今後の方針等の報告

ウ ファンダメンタルサポート

将来的にアクセラレーションに採択できる水準のスタートアップを育成するため、「ア 共通事項」に加え、広くディープテックスタートアップ及びその関係者を対象とするコミュニティを作り、以下の支援を実施する。なお、コミュニティには、エンジェル投資家など委託事業外部の者のうち、コミュニティ醸成に寄与すると思われる者が参加しやすいようにすること。

- ・ 技術動向、チーム組織支援、資金調達等相談対応
- ・ Web ページ、SNS、イベント等により最新の情報等を提供するアクティブなコミュニティを形成し、当該コミュニティへの参加を誘導
- ・ その他、ディープテックスタートアップ及びその関係者の状況に合わせた支援

を実施

工 実施体制

- ・ 委託業務の開始から終了までの間、本委託業務を総括する責任者（以下「総括責任者」という。）を1名配置すること。
- ・ ディープテックスタートアップへのアクセラレーション、ファンダメンタルサポートを実施するため、ディレクターを3人以上設置すること。
- ・ ディレクターは、週当たり5日間（原則として月曜日から金曜日）必要に応じてオンラインまたは対面で面談等に対応できる体制とすること。
- ・ ディレクターは必ずしも専従である必要はないが、専従でない場合は必ず複数人体制とし事務局に統括者1名を定めること。
- ・ オンラインでの相談・連絡体制確保すること。
- ・ アクセラレーションプログラム及び県との調整等が円滑に行える体制とすること。

オ その他

- ・ 事業の効果的な推進のための広報やセミナー等を適宜実施すること。
- ・ 事業成果を広くPRするため、ミートアップを原則オフラインで開催すること。
また、県が実施する他の事業と合同でミートアップを行う場合、県が必要とする場合は参画することとし、その際の費用は必要分を負担すること。
- ・ 月1回程度、県に対して状況報告を行うこと。事業年度を超えるような継続的な案件に円滑に対応できるよう、当該状況報告は、詳細な内容とすること。
- ・ 必要に応じて不定期でミーティングを行うこと。

(2) その他事業への連携・協力

県と調整の上、Aichi-Startup 戦略（県の実施する事業を含む）、STATION Ai(株)が実施する事業、グローバル拠点都市関連事業等、他の事業との連携・協力をを行う。

5 成果物

令和9年3月31日までに、6の納入場所へ以下のものを提出すること

- ・事業実施報告書（A4判縦） 3部
- ・上記の電子データ 1式
- ・その他、県が指示したもの

※電子データは県が指定する形式で作成すること。

6 納入場所

愛知県経済産業局革新事業創造部スタートアップ推進課
(名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 本庁舎地下1階)

7 スケジュール（予定）



※スケジュールは予定であり、より効果的な事業実施に資するのであれば、見直しも可とする。

※ミートアップは年2回以上実施すること。複数回実施することが望ましい。

8 その他

- (1) 本委託業務の内容については、本仕様書及び「2026年度ディープテック推進事業委託業務企画提案書募集要項」に基づいて提出した企画提案書の内容を遵守することとし、本委託業務の実施にあたっては、県と十分協議すること。
- (2) 本委託業務における打合せや会議等については、議事録を作成し、その都度、県に報告すること。
- (3) 本委託業務を円滑・適正に運営するための組織体制、人員配置を行うこと。
- (4) 本委託業務の経理を明確にするため、受託者は他の経理と明確に区分して会計処理を行うこと。
- (5) 成果物の著作権は県に帰属する。また、受託者は第三者の著作権等の権利を侵害していないことを保証すること。
- (6) 個別プロジェクトへの委託金額が変わった場合は変更契約する。
- (7) 本委託業務の実施において、個人情報等の保護すべき情報の取り扱いに万全の対策を講じること。
- (8) 本委託業務の実施にあたり、問題等が発生した場合には、県に遅滞なく報告するとともに、誠実な対応を行うこと。
- (9) 本委託業務は国の地域未来交付金を利用するものである。本委託業務完了後5年間、本委託業務に係る会計帳簿及び証拠書類を、県あるいは会計検査院の求めに応じていつでも閲覧に供することができるよう保存しなければならない。
- (10) 本委託業務に係る会計実地検査等が行われる場合は協力すること。

- (11) 新型コロナウイルス感染症等の影響により、仕様書に記載された事業の一部が実施できなくなった場合は、県と受託者の協議の上、契約金額を含めて、契約変更する。
- (12) 契約締結前に実施した事項については受託者の責任とし、県は一切の責任を負わない。
- (13) その他、本仕様書に定めのない事項は、県と受託者の協議により定めるものとする。

● 採択スタートアップ

2023年度

<研究開発費支給有り採択: 2社>

(五十音順)

企業名	分野	所在地	事業概要
株式会社オンコイムンセラテック (現:株式会社カナデセラピューティクス)	メディカル	愛知県 名古屋市 天白区	名古屋大学ガン免疫治療研究室発で、「人類の健康に貢献し、幸福を具現化する」独創的な創薬開発を基に新しいバイオ系医薬品を通じて社会の幸福を具現化します。新規バイオ抗がん剤の研究開発を行います。
株式会社 Quastella (クオステラ) 	バイオテクノロジー	愛知県 名古屋市 西区	名古屋大学発のスタートアップです。画像品質管理技術(細胞形態情報解析)を基軸にし、あらゆるデータ・技術・人を結びつけた先端データサイエンス・AI技術により、様々な産業の「細胞を用いた新しい挑戦」を支え、細胞がより身近な存在となる世の中を実現します。

<研究開発費支給無し採択: 3社>

(五十音順)

企業名	分野	所在地	事業概要
株式会社さかなドリーム 	フード・アグリ	千葉県 館山市	「世界一旨い魚を創り、届ける」という企業理念を掲げる水産スタートアップです。日本の養殖魚種は僅か5種類で90%を超えていますが、日本の海には4千種を超える魚が棲息しています。当社はその中でも極上の味わいを持つ魚を、独自技術によって育種することで、全く新しい養殖魚を開発・生産します。
株式会社 FerroptoCure (フェロトキュア) 	メディカル	東京都 千代田区	がんや神経変性疾患等様々な疾患において、その発生や悪化に関わるとされているフェロトーシスに注目した創薬に取り組んでいます。特に、最新の研究によりフェロトーシスの制御が、がんの発生・進展・転移に強く関与することが知られていることから、この制御メカニズムを破綻させる抗がん剤を生み出し、がん患者に新しい治療法を届けることを目指します。
株式会社 Helical Fusion (ヘリカルフュージョン) 	環境・エネルギー	東京都 中央区	世界初の定常核融合炉の社会実装を目指す会社です。日本生まれの「ヘリカル型」という安定・長期稼働にすぐれた炉形式を駆使して、CO2フリーで安全な未来のエネルギーを実現します。

2024 年度

<研究開発費支給有り採択: 2社>

(五十音順)

企業名	分野	所在地	事業概要
イルミメディカル株式会社  Illumi Medical	医療機器	愛知県 名古屋市 守山区	名古屋大学発のスタートアップで、体の深部組織(膵臓、肝臓、脳など)を含め、全身どこにでも血管経由で光を届ける光照射デバイス、光照射システムの研究・開発をしています。光を用いたがん、アルツハイマーなどの新たな診断・治療の可能性を追求します。
株式会社フレンドマイクローブ  微生物と友達に Friend Microbe	環境・ エネルギー	愛知県 名古屋市 千種区	名古屋大学発のスタートアップで、大学にて開発した高性能油脂分解微生物を活用した処理方法を展開しています。産業廃棄物削減、悪臭発生源消滅、就労環境や周辺の居住環境の改善、コスト削減を実現します。

<研究開発費支給無し採択: 4社>

(五十音順)

企業名	分野	所在地	事業概要
株式会社 SMILE CURVE (スマイルカーブ)  SMILE CURVE SAVE CHILDREN from SCOLIOSIS	医療機器	東京都 板橋区	思春期側弯症は、14歳女児の2~3%が有する疾患であり、様々な症状を引き起こすために早期発見、治療が重要です。側弯症に苦しむ児童や親を少しでも減らしたいと考え、側弯症の早期発見と治療を実現するシステムを実現します。
株式会社ソラマテリアル  SORA materials	素材・宇宙	愛知県 名古屋市 中村区	「超軽量構造材料イノベーションの創出により究極の軽さを提供し、宇宙・空の新時代を切り拓く」をミッションに掲げ、航空宇宙やモビリティ等の分野に向けた、空気浮くほど軽く高性能な超軽量材料の研究開発を行います。
株式会社 FerroptoCure (フェロトキュア)  FerroptoCure	製薬	東京都 千代田区	慶應義塾大学発のスタートアップで、がんや神経変性疾患(アルツハイマー病、パーキンソン病など)など様々な疾患において、その発生や悪化に関わるとされているフェロトーシスに注目した創薬に取り組んでいます。フェロトーシス誘導性抗がん剤の開発の海外展開を、本プログラムでは目指します。
株式会社 Helical Fusion (ヘリカルフュージョン)  Helical Fusion	環境・ エネルギー	東京都 中央区	核融合科学研究所(岐阜県)発のスタートアップで、世界初の定常核融合炉の社会実装を目指します。日本生まれの「ヘリカル型」という安定・長期稼働にすぐれた炉形式を駆使し、資源確保という人類史上最も大きな懸念の1つを払拭することで、この先100万年続く地球と人類の共生を実現します。

2025 年度

＜研究開発費支給有り採択: 3社＞

(五十音順)

企業名	分野	所在地	事業概要
株式会社 IZANA (イザナ) 	磁気センサ	名古屋市 中村区	名古屋大学発スタートアップで、独自の超高感度磁気センシング技術を強みとしています。本事業では、製造業における異物検知システム開発し、従来困難であった微小な異物の検知の実現を目指します。
FiberCraze 株式会社 (ファイバークレイズ) 	繊維	岐阜県 岐阜市	岐阜大学発のスタートアップで、ナノ多孔素材にて環境性と高機能性を両立します。繊維の尾州産地が誇る伝統のものづくり技術と先端学術研究を融合し、世界課題を解決する次世代素材を開発します。
株式会社 Helical Fusion (ヘリカルフュージョン) 	環境・ エネルギー	東京都 中央区	核融合科学研究所(岐阜県)発のスタートアップで、世界初の定常核融合炉の社会実装を目指します。本事業では、主要な役割となる機器製作を愛知県企業と連携して実施します。

＜研究開発費支給無し採択: 2社＞

(五十音順)

企業名	分野	所在地	事業概要
株式会社 INOMER (イノマー) 	医療機器・ リハビリ	奈良県 奈良市	国立長寿医療研究センターと連携し、片まひ患者の歩行リハビリを行う理学療法士向けに、歩行リハビリーション用股関節ロボット装具を開発し、社会実装を進めます。
株式会社 Craftide (クラフタイド) 	農業・ バイオ	名古屋市 千種区	名古屋大学発のスタートアップで、植物ペプチド合成技術を用い、植物の力を引き出し、環境負荷の低い持続可能な農業ソリューションを提供します。